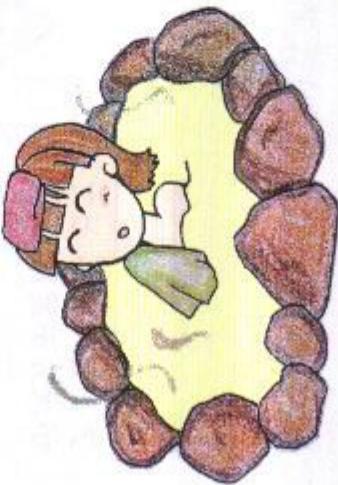


お風呂への効果

★半身浴のすすめ

少しぬるめ(39~40°C)のお湯にへそまでゆっくり(15分以上)つかると遠赤効果で代謝が良くなり毒素が皮膚から外へでます。汗が出たら血圧が上がりるので入浴中は活力水で水分を補給しましょう。



活力水の半身浴で
健康・素肌美人★



★温泉効果

遠赤効果で身体の芯まで温め、血の巡りをよくし冷えを解消。湯冷めしにくくなります。

お肌への効果

脂性肌

皮脂腺に汚れが詰まつてしまい菌が繁殖

透力をもつて毛穴の汚れを溶かす

アトピーの人ってここ
が水分不足なんだよね



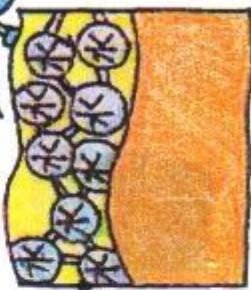
皮脂腺 活力水

乾燥肌

角質層の水分量が少なくな
り皮膚表面も水分不足に

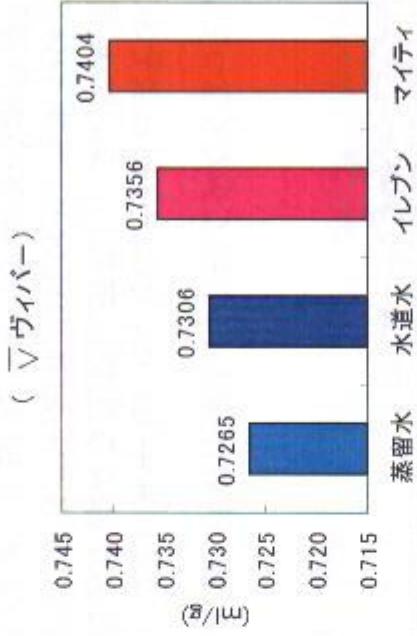
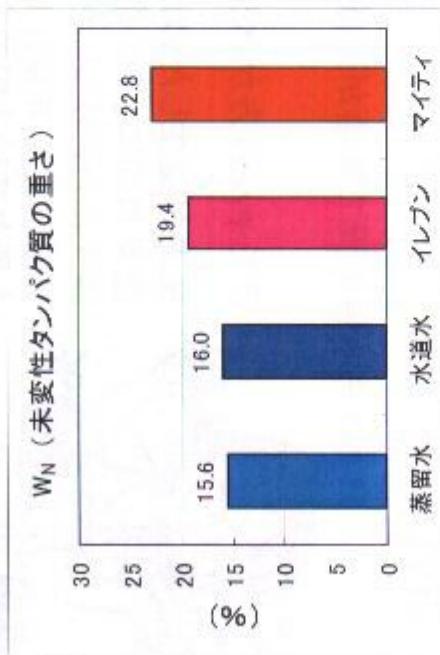
保湿力でしつとり…

アトピーの人は亜塩をとる
といいんだよ～



保湿力で
お肌しつとり

BSA(牛血清アルブミン)の密度測定

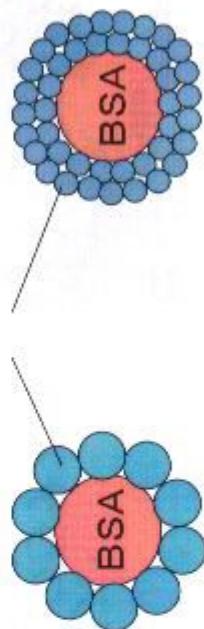


残りの%

水道水

水和層

セラ水



70°Cで加熱
した時の変化

身体の保湿、抗炎症作用に効果

人間と水

世界の四大文明

- メソポタミア文明 … チグリス・ユーフラテス川
- エジプト文明 … ナイル川
- インダス文明 … インダス川
- 古代中国文明 … 黄河

日本でも水源の元で集落が形成してきた



文明は水と共に発展してきた。

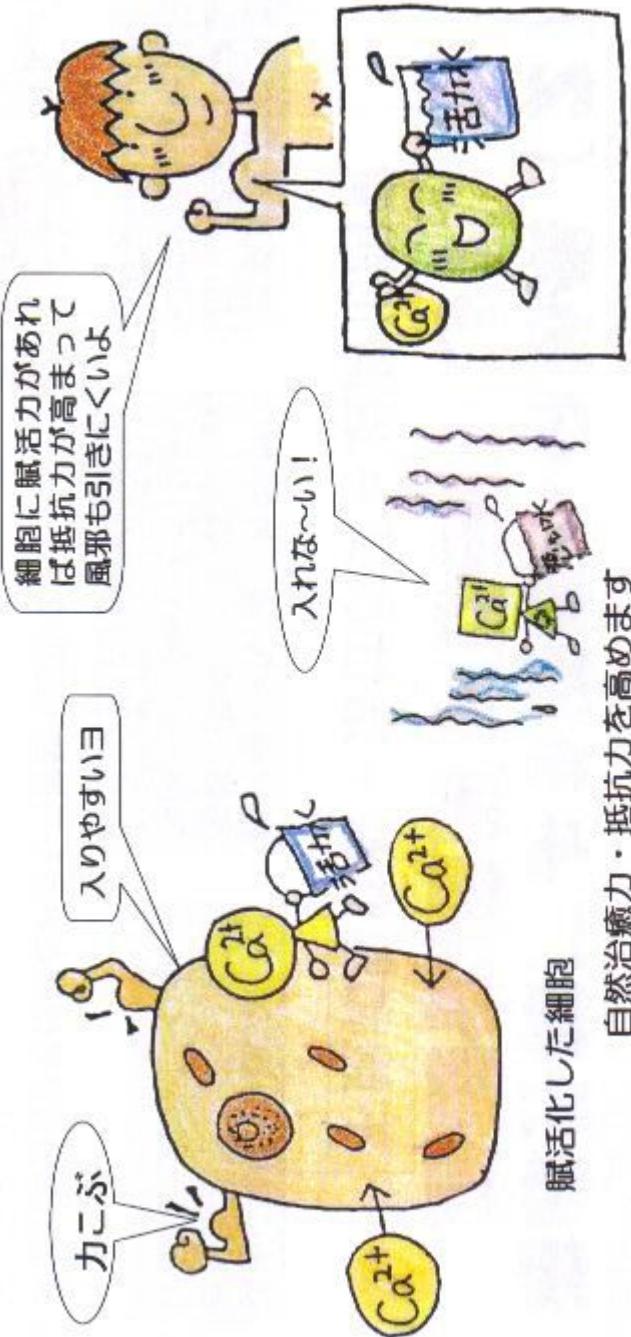
赤ちゃんの方が水分量が多く年齢が進むにつれて少なくなっていく。
生命が誕生したのは海、つまり水中でした。そこからおよそ30億年の間に、この単一細胞が様々な生物に進化し、ついに人類の誕生にたどりついたのです。ですから海水の成分と、海水や体液の成分とは非常に似ています。生命力の衰えが身体の水分量にも表れているのです。



よい水を飲むことが大切です

遠赤外線による健康への効果（1） Caイオンが細胞に入りやすくなる

細胞膜に対する浸透力もよくなります。人間の体はNa(ナトリウム)・K(カリウム)・Mg(マグネシウム)などの浸透圧によつて細胞が保たれます。遠赤の波長をおびた水はNaが細胞内に入る時、Caを連れて入りやすくなり、その結果細胞が賦活化(細胞の諸機能が増強され働きが活発化すること)します。



遠赤外線による健康への効果(2) 過酸化脂質ができるにくい

不飽和脂肪酸 + 活性酸素 = 過酸化脂質

遠赤外線の効果によって
飽和脂肪酸に変えること
ができる。

食細胞・紫外線・放射線・
農薬・殺虫剤・医薬品・殺
菌剤・抗癌剤・ダイオキシ
ン・NO₂等により出来る。

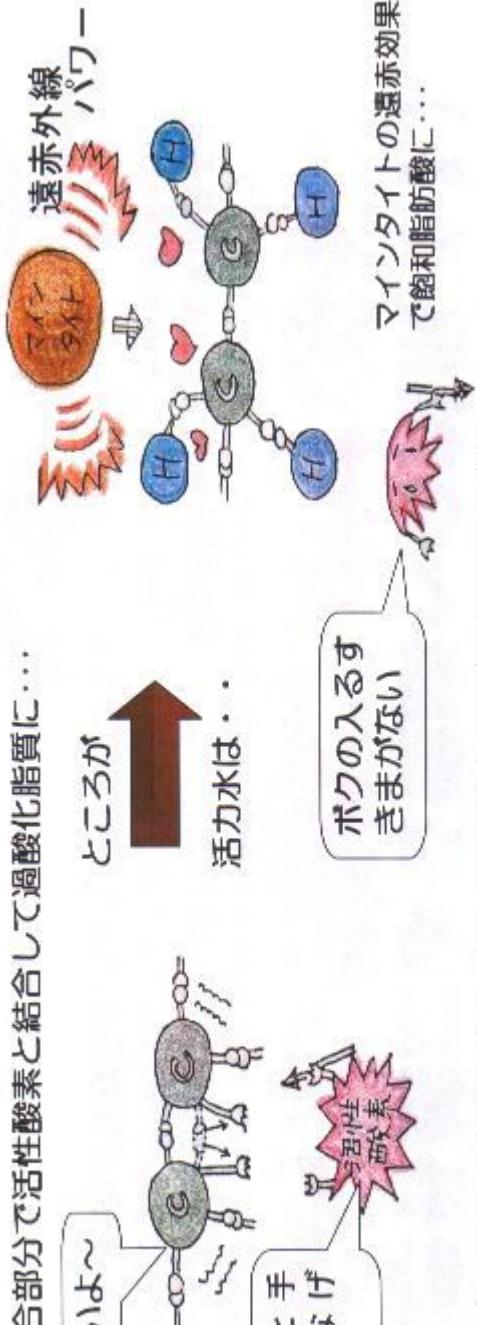
血管にたまると動脈硬化・心筋梗塞・高血圧等
の循環器系の病気の原因
になる。

二重結合部分で活性酸素と結合して過酸化脂質に…

ところが

活力水は…

ボクに入るす
きまがない

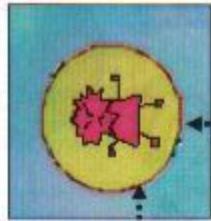


マイナイトの遠赤パワーが、活性酸素との結合を防ぎます。

マイナイトの還元効果
で飽和脂肪酸に…

Caイオンが細胞に入りやすくなる効果(6) アトピー性皮膚炎

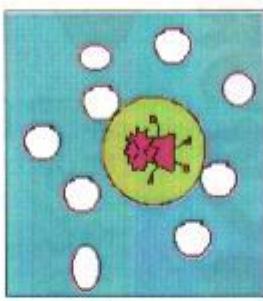
アトピー性皮膚炎はもともとタンパク質異常でおこります。治療方法の一つとしてカルシウムイオンを体内に増やす方法があります。カルシウムイオンを多く含んだ強しい細胞の働きで、ヒスタミンの遊離を抑えていきます。



ヒスタミンの遊離
(かゆみの原因)

ヒスタミン

白血球



こいつが悪さ
をするんだよ

だんだん白血球が
離れる

いろいろな要因

- ・環境
- ・ウィルス
- ・肝機能
- ・たんぱく異常（食物）

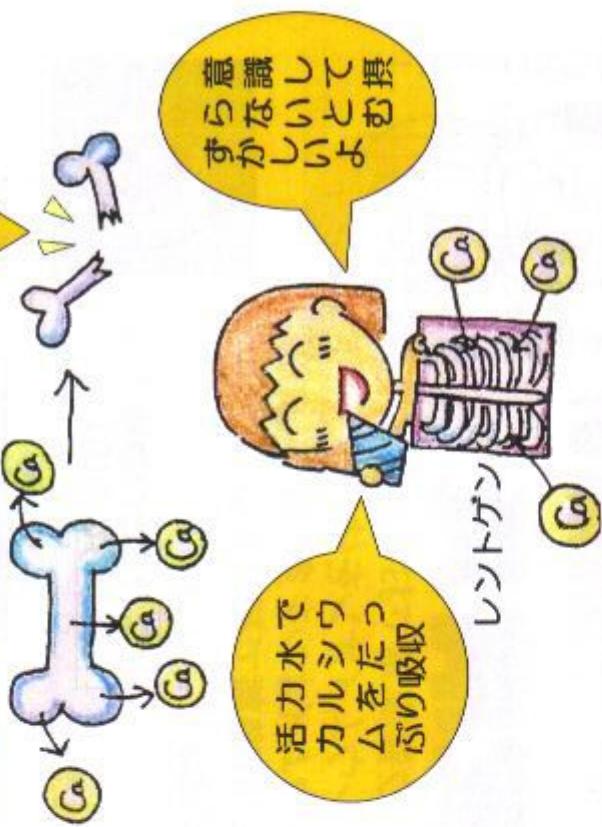
白血球がヒスタミン
をガード、かゆみを
抑える（健康な時）

Caイオンが細胞に入りやすくなる効果(5)

普通 600mg~800mg
妊婦 1000mg~1200mg

Ca不足になると骨中のCaが溶けてくる。

活力水を飲めよ
ばばた

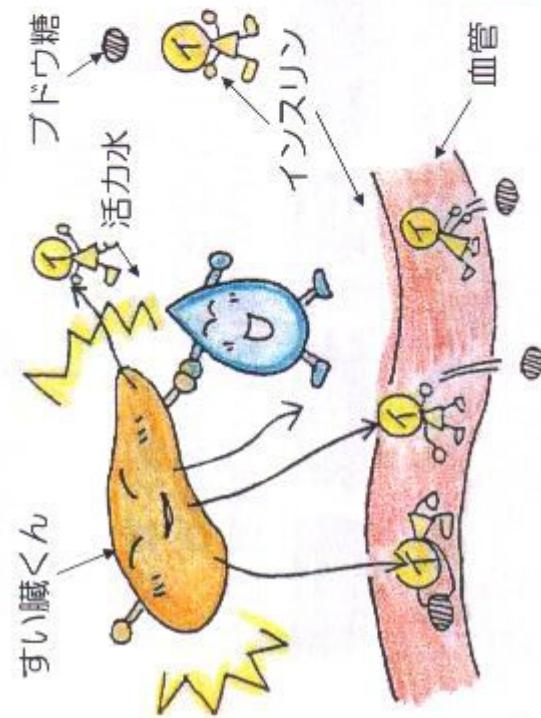


- ◎ 日本は火山国で土壤のカルシウムの含有量が少なく食事で摂ることが非常に難しい。
- ◎ 年をとると胃・腸の働きも弱くなるため身体に吸収しにくくなります。
- ◎ カルシウムの吸収量が少くならず、人は自分の身体の骨を溶かして使います。それによつて骨に隙間ができるようになります。折れやすくなります。
- ◎ 活力水を飲むとカルシウムが身体に入りやすくなり骨を守ります。

カルシウムイオンがたくさん入る
と骨粗鬆症予防につながります。

Caイオノンが細胞に入りやすくなる効果(3) 脾臓の働き

糖尿病は、脾臓がβインスリンを作る力がなくなる病気で、インスリン依存型と非依存型に分かれ、依存型はもともとインスリンが出ない人でインスリン注射をしなければいけませんが、非依存型は脾臓の働きの弱まりでインスリンの出が少なく、栄養分が尿と一緒に排泄されてしまい、食べても痩せていきます。細胞に力が出ると脾臓の力が戻り、インスリンをよく出る様になります。

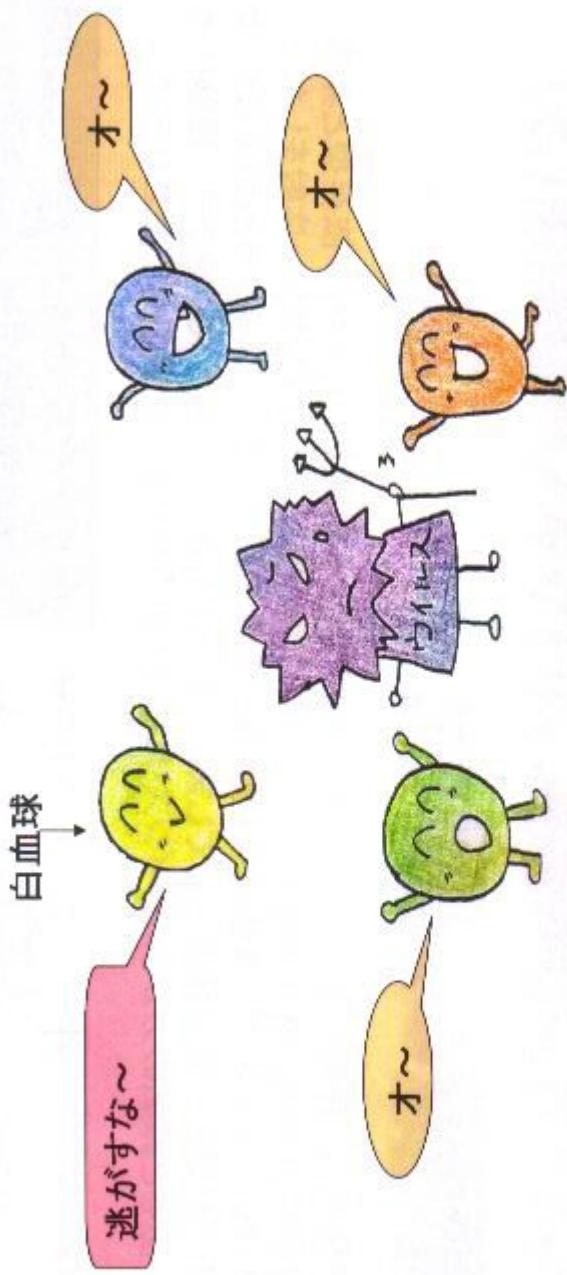


- ◎ インスリンを出す力が弱った脾臓を正常な動きにもどします。
- ◎ インスリンの分泌を促進して血液中のブドウ糖を細胞組織に取り込みやすくし、エネルギー源に。
- ◎ 血中の血糖値を安定させます。

正常血糖値 70mg~110mg
血糖値とは血漿(血液中の赤血球などを除いた部分)100ml中にあるブドウ糖の量(mg)。

Caイオンが細胞に入りやすくなる効果(4) 自 然 治 療 力

- ◎ 風邪というのは抵抗力の低下・自然治癒力の低下なので細胞に賦活力があれば風邪はひきにくくなります。
- ◎ 食べ物ではビタミンCを多く含んだ物を摂ると良いようです。



がんばれ！マクロファージ T細胞！ B細胞！（全て白血球）